

普通救命講習会



目的

- ①事故や突発的な病気の被害者に緊急手当を施す技術を身につける。
- ②生命・安全についての認識を深め、日頃か留意する態度を身につける。
- ③大地震時または大事故に遭遇した際、大人たちとともに救命・救急作業に取り組もうとする意識や意欲を身につける。

救命処置

心肺蘇生法

- 反応を確認
- 助けを呼ぶ
- 呼吸を調べる
- 胸骨圧迫
- 軌道を確認する
- 人工呼吸

**迅速な救命活動で
命をつなぐ「救命の連鎖」**



救急隊に引き継ぐまで
または傷病者に呼吸や目的
のある反応が認められるまで
心配蘇生を続ける



大切な命を
救うために
誰もがができること

強く:成人は 5 cm、小児は胸の厚さ 1/3
早く:100~120 回/分
絶え間なく:中断を最小にする

人口呼吸ができる場合は
30:2 で、胸骨圧迫に人口呼吸を加える



AED

AED を準備し傷病者の横に置く
AED の蓋を開け、電源を入れる
電極パッドを指示(書かれた絵の通り)に
傷病者に貼る
解析中は傷病者に触らない
除細動(電気ショック)の指示が出たら
通電ボタンを押す。
除細動
実施したら、ただちに胸骨圧迫
人口呼吸をする

AED の使い方は
覚えられたかな?

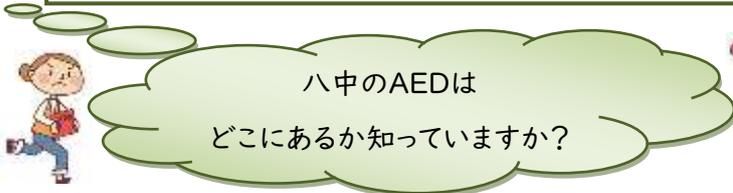
気道異物除去法

腹部突き上げ法

1. 患者の後ろに回り、ウエスト付近に手を回す。
2. 一方の手で「へそ」の位置を確認する。
3. もう一方の手で握りこぶしを作って、親指側を、患者の「へそ」の上方でみぞおちより十分下方に当てる。
4. 「へそ」を確認した手で握りこぶしを握り、すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げる。
5. 腹部突き上げ法を実施した場合は、腹部の内臓を傷める可能性があるため、救急隊にその旨を伝えるか、すみやかに医師の診察を受けさせる。

背部叩打法

患者の後ろから、手のひらの基部で、左右の肩甲骨の中間あたりを力強く何度も叩く。
注意: 妊婦や乳児では、腹部突き上げ法は行わない。背部叩打法のみ行う。



* 生徒昇降口と校舎側体育館入口にあります *

止血法

直接圧迫止血法

出血に対する基本の方法で、止血法の第一選択で清潔なガーゼやハンカチ(できれば滅菌ガーゼ)を厚めに重ねて傷口にかぶせ、その上から強く圧迫して止血する。

間接圧迫止血法、止血帯を用いた方法もある。



東京防災救急協会指導員の皆様
調布消防署員の皆様
ありがとうございました。

救命技能認定証交付



そこにAEDがあれば
そこに助けようとする人がいれば
助かる命がある

「#7119」東京消防庁救急相談センター

東京消防庁では、急な病気やケガで「今すぐ病院に行ったほうがいいのかな?」、「救急車を呼んだほうがいいのかな?」など迷った際の相談窓口として、東京消防庁救急相談センターを開設しています。

救急相談医療チーム(医師、看護師、救急隊経験者等の職員)が、医療機関案内と救急相談に24時間・年中無休で対応しています。

受付番号#7119は携帯電話、PHS、プッシュ回線からご利用いただけます。その他の電話、または繋がらない場合、23区は03(3212)2323、多摩地区は042(521)2323からご利用ください。

AED

Automated External Defibrillator

自動体外式除細動器

突然心臓が正常に拍動できなくなった心停止状態の心臓に対して、電気ショックを行い、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器

